

## 1. 2012年度年会について

2012年度年会は東京理科大学において、下記の通り行われます。

場所：東京理科大学神楽坂キャンパス（神楽坂校舎）

日時：2012年3月26日（月）より3月29日（木）まで  
（市民講演会は3月25日（日））

開催情報のページ：<http://mathsoc.jp/meeting/tus12mar/>

2010年度秋季総合分科会から、オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムの運用を始めました。以下では、オンラインシステムを用いた講演申込とアブストラクト投稿の大枠について説明して、その詳細につきまして「3. オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムについて」で解説いたします。

2011年度年会の一般講演のアブストラクトについては、今回の2012年度年会でも口頭発表できます。このことについては、次項「2. 2011年度年会の一般講演の口頭発表について」で詳しく説明いたします。

### a) 講演申込について

この会で講演を希望される会員は、原則としてオンラインシステムを用いてお申し込み下さい。何らかの事情でオンラインシステムが利用できない会員に対して講演の機会を保証する手段も考えておりますので、「5. オンラインシステムを使えない会員の講演申込・アブストラクト投稿について」をご覧ください。

共同発表者を含めて、会員である発表者の会員番号を必ず入力して下さい。（会員番号を用いて、発表者名と所属の略称が自動入力できます。また、一般講演の発表者と講演題目をデータベース化するときに、会員番号をキーとして用います。）

「無限可積分系」セッションについても、講演の発表、募集は分科会と同様に公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行います。講演希望の方は、オンラインシステムの「希望分科」欄を「XI 無限可積分系」として下さい。

すべての会場で書画カメラとプロジェクタが使用できますので、使用を希望される方は、オンラインシステムで希望のものを申告して下さい。

なお、大会運営の都合により講演時間及び講演件数を制限させて頂くこともあります。

アブストラクト（予稿）原稿も、下記の注意に従ってオンラインシステムを用いてご提出下さい。

オンラインシステム（APP サーバ）の URL: <https://app.mathsoc.jp/>

オンラインシステムによる申込締切：**12月4日（日）23時59分**

（オンラインシステムの受付開始は11月11日（金）00時00分とします。）

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

アブストラクト原稿：分科会による指定のない限り、開催情報のページにある“学会アブストラクトの書式”（2011年度改定版）に従って作成して下さい。オンラインシステム導入にあたって、書式を大幅に改定しましたのでご注意ください。（開催情報のページにはアブストラクト作成のためのLaTeXクラスファイルのページもリンクしてあります。）

過去3回のオンラインシステムを用いた講演申込・アブストラクト投稿での事例ですが、講演題目および共同発表者に関して講演申込データとアブストラクトの間に不整合が見つかりましたのでご注意ください。

またオンラインでのアブストラクト投稿で、カラーの画像を含んだPDFファイルが散見されます。アブストラクトの印刷自体は白黒ですので、それがどのようになるかは印刷所の

状態によります。オンライン講演申込・予稿投稿システム WG では画像の白黒化はしない形で分科会評議員と特別セッション責任者に PDF を渡すことにします。そして、今後アブストラクトを会員内で公開する場合も、カラーの画像のままとします。以上を理解された上で、カラーの画像を PDF に含めるようにして下さい。

アブストラクト原稿の投稿期限も、講演申込と同じく、

### 12月4日(日) 23時59分

とします(統計数学分科会での講演に関しては、別途説明があります)。今回から応用数学分科会におけるアブストラクトは投稿期限が従来と異なり講演申込の締切と同じになりましたので、ご注意下さい。

キーワード・分類コード：数学基礎論および歴史、函数論、実函数論、統計数学、応用数学各分科会への講演申込にあたっては、オンラインシステム上でそれぞれ次の分類コードから選択します。この場合、オンラインシステムではキーワード・分類コードの選択がないとエラーとなりますのでご注意下さい。また、今回から上の分科会以外ではキーワードの記入ができないようになっています。

数学基礎論および歴史分科会：1 [数学基礎論]，2 [歴史]

函数論分科会：1 [変数函数論]，2 [多変数函数論]

実函数論分科会：1 [フーリエ解析]，2 [関数空間]，3 [発展方程式]，  
4 [バナッハ空間の幾何，不動点定理]，  
5 [測度論，積分論]，6 [その他]

統計数学分科会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，  
3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，  
5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，  
7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，  
10 [推測理論] (3-7に含まれないもの)，11 [その他]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

上の分類コードは、講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので、ご意見を連絡責任評議員までお寄せ下さい。

講演題目中の数式：すでに数学通信14巻4号の会報でお願いいたしましたが、講演題目に用いる数式は最小限に留めるようお願いいたします。

#### b) 学会講演申込書・学会プログラムの名誉教授の扱いについて

2007年度版会員名簿「学会講演申込書を書くときの注意」の中に「名誉教授は空欄にして下さい。」と記載してありましたが、2008年3月28日の理事会にて「学会講演申込書には名誉教授であることをご明記いただき、学会プログラムでは名誉教授を表すマークを付けて所属欄に記載する」と決定しました。オンライン申込で名誉教授に関するボタンも用意されておりますので、名誉教授の先生方はお忘れないようにお願いします。

#### c) 予稿集について

各分科会、セッションともアブストラクト原稿に従って講演予稿(アブストラクト)集を作ります。

(1) 基礎論及び歴史・代数・幾何・函数論・函数方程式論・実函数論・函数解析・トポロジー分科会・「無限可積分系」セッション

上述の「a」講演申込についての「アブストラクト原稿」に従ってご提出下さい。

## (2) 統計数学分科会

統計数学分科会では、講演申込とアブストラクト投稿の方法は2011年度年会よりオンラインシステムに統一されております。統計数学分科会では予稿集の原稿の投稿期限は講演申込の締切と同時ではなく、

**2012年1月22日(日) 23時59分**

といたします。この締切までにオンラインシステムにより原稿のPDFファイルをアップロードして下さい。なお、ご事情によりオンラインシステムによらず講演申し込みをされる場合、予稿集の原稿の送付期限は他の分科会と同じといたしますので、ご注意下さい。詳しくは「5. オンラインシステムを使えない会員の講演申込み・アブストラクト投稿について」をご覧ください。

## (3) 応用数学分科会

応用数学分科会(別記のように申込件数は2件までに制限)では原則オンライン投稿とします。また、2012年度年会より、アブストラクトの投稿期限を講演申込の締切と同時の

**2011年12月4日(日) 23:59**

といたします。ご注意下さい。何らかの事情でオンラインシステムを利用できない方は、「5. オンラインシステムを使えない会員の講演申込・アブストラクト投稿について」に従って行って下さい。1 講演あたり A4 (縦置) 横書き 4 ページ以内とします。予稿原稿は「学会アブストラクトの書式」に従って下さい。ファイルはPDF形式に限定します。PDF形式に変換する際はすべてのフォントをインクルードして下さい。また、PDF形式に変換後のファイルをAcrobat Readerなどで印刷し、読めることを確認して下さい。予稿集の目次は、講演申込時の題目で組みますのでご注意下さい。なお、特別講演やスペシャルセッションについては4ページの制限は適用されません。詳細については評議員に問い合わせして下さい。応用数学分科会では液晶プロジェクターの利用は原則的に可能としていますので、利用を希望する場合はオンライン講演申込において発表方法として「プロジェクターを使用する」を選択して下さい。もし、やむを得ない理由で利用が不可能になった時は応用数学分科会ニュース：

<http://polaris.s.kanazawau.ac.jp/dam/news.html>

にその旨掲載しますので適宜確認して下さい。応用数学分科会ニュースは応用数学分科会公式ウェブページ

<http://isam.pm.tokushima-u.ac.jp/~imai/societywork/dam/damtop.htm>

からもリンクされています。

### d) 講演申込の確認について

前回の2011年度秋季総合分科会のと様と同様に、プログラム編成会議終了後に、講演者名と講演題目を確認のためにウェブ上で公開します。今回は12月19日(月)に開催情報のページにおいて公開します。(公開開始のニュースを会員向けのニュース欄においてお知らせします。) 確認した結果、何かお気づきの会員は、12月22日(木)までに [program\(at\)mathsoc.jp](mailto:program(at)mathsoc.jp) までご連絡下さい。そのときに、いつの時点で講演申込をしたか、なるべく詳細にご連絡下さい。

軽微な字句修正につきましてはお断りする場合もあることを予めご承知下さい。また、アブストラクトのPDFの差し替えはいかなる理由があってもお引き受けいたしません。

### e) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、オンライン

システムで申請をしていただくようお願いいたします。①会合の名称，②責任者の氏名・連絡先（電子メールアドレス，なければファックス番号または電話番号），③使用の日時・人数，④弁当の有無等，⑤プログラムへの掲載希望を，オンラインシステム上の様式に従って記入して下さい。

分科会の会場を使つての会合に関しても，分科会のプログラムや全体の「委員会等日程」への掲載の必要がある場合は，必ずこのシステムを通して登録をお願いします。また，お弁当の数の開催校への連絡も，登録のあつた会合申込のページを通して申込期限後に行つていただきます。以上の詳細については，開催情報のページからリンクをしてありますので，参照して下さい。

なお，期限後の申込については，会場確保が不可能となる場合もあります。

オンラインシステム上での会合申込：<https://app.mathsoc.jp/kaigi/>

申込期間：11月11日（金）00：00から12月4日（日）23：59まで

#### f) 無限可積分系

このセッションについては，日本数学会理事会の責任において行うものですが，今回の実務的な責任者は白石潤一氏（東京大学大学院数理科学研究科）です。

#### g) 企画特別講演について

企画特別講演は，1996年度第3回評議員会において承認され，1997年度年会より始まつた企画で，大学院生等若い会員にとつて，年会・総合分科会への参加がより意義のあるものなることを目的としています。講演者は，分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに，理事会が決定いたします。講演は，学会期日中の第1日，第3日，第4日の3日間の13：00～14：00に複数を平行して開催します。この時間は一般講演・特別講演等の通常プログラムは設けません。また，アブストラクトは総合講演アブストラクトと合わせて作成します。

#### h) 書籍等展示の申し込みについて

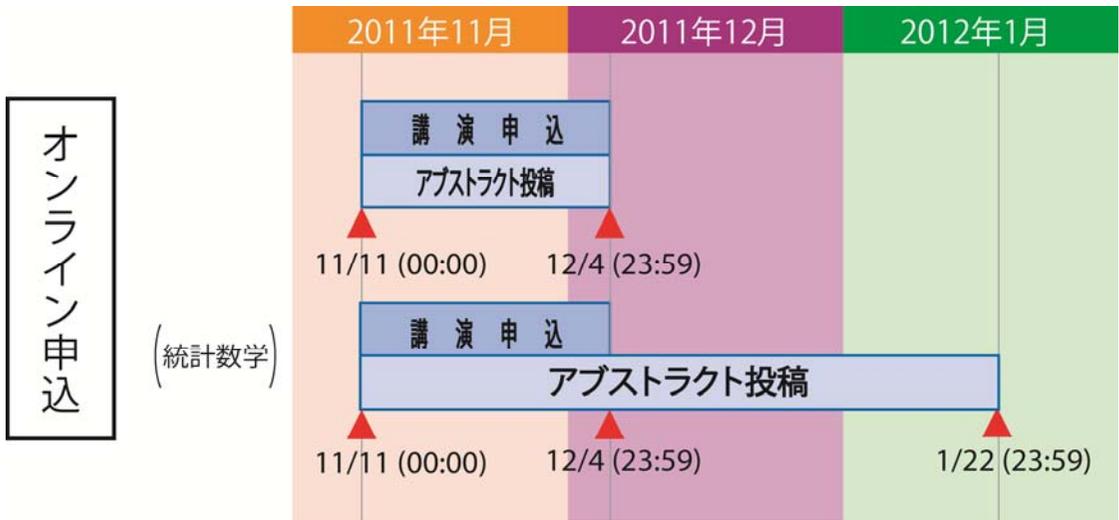
賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は，申込書2枚（日本数学会理事長宛，大会委員長宛）を申込締切12月5日（月）厳守で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0033 文京区本郷5-28-1

（株）友隣社

電話:03-3814-0275 FAX:03-3814-1156

**スケジュール** 下の図において統計数学を除くすべての分科会・セッションの申込スケジュールは，上段の流れ（分科会名が記載されていないもの）が該当します。



**電子メールアドレス** 大会の準備のためにいくつかの電子メールアドレスを用います。以下のリストのアドレスには@mathsoc.jp を付け加えて下さい。

- 講演題目の確認のためなど
- 特別講演・企画特別講演関係
- 入会希望者の仮 ID の申込
- オンラインシステムに関する質問
- オンラインシステムが使えない会員のためのサポート
- 理事長
- オンラインシステムの担当理事（戸瀬信之）

program  
tokubetu  
member  
inquiry.mgate  
app-support  
president  
tose